

令和 7 (2025) 年 9 月 10 日

各高等学校長 殿
各中等教育学校長 殿
各社会科（地歴・公民科）主任 殿

神奈川県高等学校教科研究会
会長 岡野 正之
(神奈川県立相模原中等教育学校長)
同 社会科部会
部会長 藤元 貴嗣
(神奈川県立川和高等学校長)
理事長 高橋 俊介
(公印省略)

神奈川県高等学校社会科部会秋季研究大会及び講演会の開催について（依頼）

白露の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より社会科部会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、標記の件について、次のとおり開催しますので、貴校職員の出張につきまして、ご配慮くださいますようお願い申し上げます。

- 1 主 催 神奈川県高等学校教科研究会社会科部会
- 2 共 催 神奈川県教育委員会
- 3 日 時 令和 7 (2025) 年 10 月 22 日（水） 13 時 45 分から（受付は 13 時 15 分から）
- 4 会 場 神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）映像ホール（5 階）
住所 横浜市栄区小菅ケ谷 1-2-1
電話 045-896-2121（代表）
交通 JR 根岸線「本郷台駅」より徒歩 3 分
- 5 内 容 ①研究発表及び協議
・地理分科会「栃木巡検の報告と巡検の教材化」
原 琴音（公文国際学園中等部・高等部）
・公民分科会「18 歳選挙権実現から 10 年を経て」
黒崎 洋介（神奈川県立横浜瀬谷高等学校）
・神奈川県教育局指導部高校教育課指導主事による講評
②講演会
「いま、教科書裁判から何を学ぶか？」
講師 大串 潤児（国立歴史民俗博物館教授）

【講師紹介】

一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。信州大学教授などを経て、現在は、国立歴史民俗博物館教授。専門は、日本近現代史、地域史、民衆史、歴史教育。主な著書・論文は『「銃後」の民衆経験—地域における翼賛運動』（岩波書店、2016 年）、「教科書訴訟・教科書問題と現代歴史学」『岩波講座 日本歴史 第 22 巻』（岩波書店、2016 年）、編著に『国策紙芝居—地域への視点・植民地の経験』（御茶の水書房、2022 年）など多数。また、実教出版『詳述歴史総合 新訂版』『歴史総合 新訂版 むすびつく世界と日本』『精選日本史探究』の執筆・編修を担当。社会科部会歴史分科会主催の日本史サマーセミナーの講師としても長年ご尽力いただいております。

【講師の大串潤児先生からのメッセージ】

家永三郎による「教科書検定訴訟（一般には教科書裁判）」（1965～1997年）は様々な問題を提起した訴訟でした。教科書とはどのような歴史叙述なのか、歴史学と歴史教育はどのような関係にあるのか、教育権はだれにどのようにあるものなのか、教科書は何に依拠して書かれるものなのか、など、教科書訴訟の過程で議論されたことがらは多方面におよんでいます。いずれも歴史教育を考える際の原点といってもよい論点です。特に1980年代の第3次訴訟は日本の戦争をどのように考えるか、学ぶか、という問題を焦点としていました。60年まえに提訴された教科書訴訟をふりかえりながらその現代的意義を考えたいと思います。

6 時 程	13:15 ～ 13:45	受付
	13:45 ～ 13:50	開会の言葉・部会長挨拶
	13:50 ～ 14:50	研究発表及び協議
	14:50 ～ 15:00	講評（神奈川県教育局指導部高校教育課指導主事）
		休憩
	15:10 ～ 16:50	講演会
	16:50 ～ 17:00	閉会・諸連絡

7 その他 旅費につきましては、まことに恐縮でございますが、貴校にて負担くださいますようお願いいたします。

なお、春季研究大会と同様に現地開催とオンライン開催のハイブリッドで実施いたします。オンラインでの参加を希望される方は、10月17日（金）の18時まで下記 Microsoft Forms から申込みください。10月20日（月）に ZOOM の URL をお送りします。



<https://forms.cloud.microsoft/r/arcanNjyUM?origin=lprLink>

問合せ先

社会科部会事務局

神奈川総合産業高校定時制 高橋

電話 042-742-5707（直通）

メール takahashishunsuke@pen-kanagawa.ed.jp